

日本国内各地の災害被災者の支援や被災地復興のための支援

## 「自然と共に暮らす地域づくり事業」 ～亘理らしい被災地域復興を目指して～

### 豊かな自然や生物多様性を守る意識を高め、 地域づくりのきっかけとなるワークショップ

東日本大震災で発生した津波で、海岸地域にある家屋のほとんどすべてが失われた宮城県亘理町。地域コミュニティの再構築に取り組んできた地元女性たちから成る団体が、地域の自然と触れ合うワークショップ（ミツバチと蜜源植物を育てる／自然素材に触れるものづくり）を開催。自然環境について学びながら「人と学びの環」を創るための活動に取り組んだ。



ワークショップの開催を告知するチラシ

### 東日本大震災の激しい被災地で 地域の交流の場づくりに取り組む

東日本大震災が発生してから10年以上が経過し、被災地域への関心が薄れつつあると指摘されている。復興支援活動を行うNPO法人やボランティアも活動資金の調達や人材確保が困難となり、10年を節目と捉え、活動から撤退したところも多い。こうした厳しい状況下だからこそ、地域に根差した活動を継続し、新たな地域課題の解決にチャレンジすることが求められている。

その一方、限られた自己資金だけでは、地域復興に貢献できる規模に限界があるのも事実である。様々な地域課題解決に取り組むとともに、多くの方々にそのことを知ってもらい、共感する人々を拡げていくことも大切な活動で

ある。事業内容や成果を積極的に発信することで、取り組みへの関心と認知度の向上につなげていく努力が必要である。

一般社団法人「WATALIS」は、東日本大震災で甚大な被害を被った宮城県亘理町で、2012年度から被災地域での交流の場づくりに取り組んでいる。非営利事業として10年間にわたって延べ473回（2021年3月末現在）のものづくりワークショップやイベントを開催し、2016年からはコミュニティカフェも運営してきた。被災地域で人々が集える場を提供し、震災で崩壊した地域コミュニティの再構築に取り組んできた。その活動はメディア（新聞、地元情報誌など）に取り上げられることも多く、地域住民からの要望も多い。

昨年度、POSCの助成を活用し、未利用地や遊休農地を活用した景観形成活動による地域活力の向上、人と自然がつながる機会の創出による自然環境や生態系に対する住民意識の高まり、仲間づくりと新たな地域コミュニティの創出などを目的とする事業に取り組んだ。

### 自然に触れながら地域への関心や 交流を深めるワークショップの開催

具体的には、自然環境について学びながら、豊かな自然や生物多様性を守る意識を高め、地域住民が主体となって地域づくりを目指すためのきっかけとなる2種類のワークショップを開催した。

その一つが、ミツバチと蜜源植物を育てるためのワークショップである。ミツバチは花粉を集める過程で植物の受粉に貢献し、周辺の生態系に好影響を及ぼす。「環境指標生物」とも呼ばれ、生育できる場所は花や緑も多く、人間にとっても住みやすい環境だとされる。亘理町内の未利用地や遊休農地を活用し、専門家の指導を受けながらミツバチの飼育と観察を行うとともに、蜜源となる植物を栽

培し、生き物たちや人間が安心して暮らせる花と緑あふれる自然環境づくりへの関心を高める機会を提供した。

もう一つが、事務所に隣接するコミュニティカフェスペースで行われた自然素材に触れるものづくりで、ミツバチが巣作りのために生み出す蜜蝋や亘理の里山で採集した自然素材（松ぼっくり、クルミなど）を素材とした小物づくりを行い、住民同士が交流する機会の提供と仲間づくりに取り組んだ。

どちらも通年で実施され、前者は16回で延べ86人、後者は39回で延べ312人が参加した（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員数を少な目に設定）。前者のワークショップには、地域内の高齢者や子ども、障がいのある方、在日外国人などが参加し、花の種撒きを行った。暑い中、汗を流しながらの活動であったが、日常生活の中では出会えない人同士と一緒に過ごす貴重な機会となった。なお、実施にあたっては、ポスターやチラシの作成と配布、HPやSNSでの情報発信を行ったほか、活動の詳細はHPに掲載し、周知に努めた。



住民同士の交流を深めるため、ミツバチと蜜源植物を育てるためのワークショップとコミュニティカフェで小物づくりを実施



助成団体：一般社団法人 WATALIS

<http://watalis.jp/>



### 大きな課題である資金調達がクリアされ、新たな挑戦ができました

ご支援いただいた資金のおかげで、当法人にとって新しい分野の活動に取り組むことができました。参加者の層も予想以上に拡大し、多様な人々が集うダイバーシティなコミュニティ創りに向けて、大きな可能性を感じた一年でした。この助成金制度が継続され、また新しい社会貢献へのチャレンジが形になることを願っています。

一般社団法人 WATALIS  
代表理事 引地 恵さん